

2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2026年8月10日
(東証プライム市場 4047)



関東電化工業
KANTO DENKA KOGYO

損益計算書

- 半導体用特殊ガス類の売上高は稼働率向上の伴う数量増と価格修正効果により増収、電池材料は北米向け需要の拡大により増収。
- 営業利益は、原燃料価格は上昇したものの、増収効果により増益。
- WF6は、タングステンの調達先を多角化することで、生産を継続している。

(単位：億円)

	2026年3月期 Q1実績	2027年3月期 Q1実績	増減	増減率(%)
売上高	151	197	46	30.6
営業利益	7	39	31	410.7
経常利益	7	45	38	515.5
税金等調整前四半期純利益	7	45	38	522.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	5	32	27	509.3
1株当たり四半期純利益 (円)	9.24	56.41	47.17	

貸借対照表

(単位：億円)

	2026年3月末	2026年6月末	増減	増減率(%)
資産	1,313	1,407	94	7.2
現金及び預金	202	186	△ 15	△ 7.8
営業債権	188	210	21	11.6
棚卸資産	211	278	66	31.3
固定資産（有形+無形）	534	520	△ 13	△ 2.5
負債	570	627	57	10.0
有利子負債	398	424	25	6.5
営業債務	93	112	18	20.0
未払法人税等	11	17	5	42.8
純資産	742	779	36	5.0
自己資本比率(%)	55.1	54.1	△ 1.0	

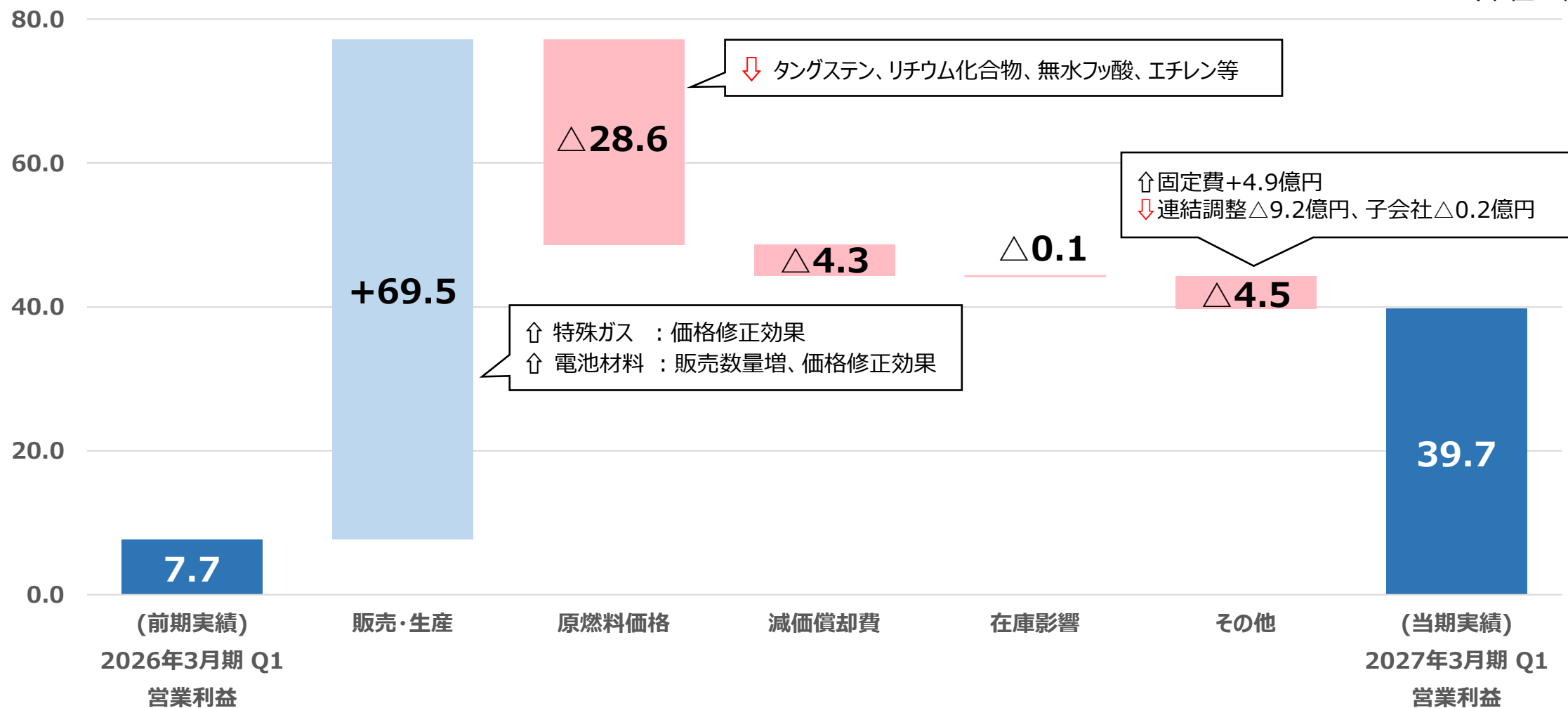
セグメント別業績

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2026年3月期 Q1実績	2027年3月期 Q1実績	増減	2026年3月期 Q1実績	2027年3月期 Q1実績	増減
基 礎	19	20	1	0	0	0
精 密	119	165	45	5	37	31
その他*	12	11	△0	1	1	△0
合 計	151	197	46	7	39	31
(参考)単体特殊ガス	103	143	40	7	42	34
(参考)棚卸資産評価損	-	-	-	△6	△6	△0
設備投資額	31	9	△ 22	※ その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。		
減価償却費	18	23	4			
研究開発費	5	5	0			

営業利益差異分析（前年同期比較）

（単位：億円）



業績修正（セグメント別）

- 売上高は計画通り推移する見通し。
 - 営業利益は、原燃料価格は上昇するものの、半導体用特殊ガス類の価格修正効果等により増益。
 - 通期業績予想は原燃料価格変動の影響を精査中のため、第2四半期以降の業績は当初計画を据え置いている。
- （単位：億円）

	上期 売上高			上期 営業利益		
	期初	修正後	差異	期初	修正後	差異
基礎	43	43	-	△ 3	△ 3	-
精密	356	356	-	54	67	13
その他	23	23	-	2	2	-
合計	422	422	-	53	66	13

	通期 売上高			通期 営業利益		
	期初	修正後	差異	期初	修正後	差異
基礎	85	85	-	1	1	-
精密	818	818	-	96	109	13
その他	47	47	-	3	3	-
合計	950	950	-	100	113	13

注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。